

平成30年度 シラバス

校長		教頭	
----	--	----	--

教科	商業	科目	原価計算	単位数	2単位
学級	3学年7・8組 (情報処理科)	教科書・ 副教材	教科書：「原価計算 新訂版」(実教出版) 副教材：反復式 学習と検定 原価計算問題集 全商1級 原価計算 (実教出版)		
教科の目標	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。				
科目の目標	製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得させ、原価の概念について理解させるとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てる。				
評価の観点	関心・意欲・態度：関	思考・判断・表現：思	技能：技	知識・理解：知	
趣旨	製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、原価計算から得られる情報を活用する態度を身につけているか。	各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけているか。	製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、原価計算から得られる情報を的確に処理することができるか。	製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解しているか。	
成績評価	i. 定期テスト、提出物、授業態度などを総合的に評価する。 定期テス60% / 提出物20% / 授業態度20%				

学 習 指 導 計 画

月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の観点				評価規準 (評価の材料等)	予定 時数	実施 時数
			関	思	技	知			
4	第1編 原価計算の 基礎	1 原価と原価計算	○				製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習しようとする態度が見られたか。 (関)	1	
		2 原価計算のあらまし				○	原価要素の性格とその分類について理解したか。(知) 原価要素を集計する過程で原価計算表の役割を理解したか。(技) (知) 原価計算の目的について理解し、どのような場面で活用されるか思考することができた。(思)	2	
5		3 工業簿記—製造業における簿記—		○	○	○	原価計算の種類について理解できたか。(知) 工業簿記における勘定記入の特徴を理解し、一連の流れを記帳することができたか。(知) (技) 製造直接費と製造間接費の区別の必要性や、製造活動に関わる勘定の特性について考え、表現することができたか。(思)	4	

	第4編 製品の完成・販売と決算	12 製品の完成と販売 13 決算と本社・工場間の取引				○ ○ ○ ○	製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法が理解できたか。(知) 販売費及び一般管理費の記帳方法が理解できたか。(知) 財務諸表の特色を理解し、製造原価報告書の作成ができたか。(技) 工場会計の独立を理解し、記帳ができたか。(技)	1 2	
1	第5編 標準原価計算の基礎	14 標準原価計算(その1)				○	原価管理について関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢が見られたか。(関) 標準原価計算の意義と特色、手続きについて理解できたか。(知) 標準原価により完成品原価や月末仕掛品原価が計算できたか。(技)	4	
2		15 標準原価計算(その2)			○	○	原価差異の算出ができ、その結果から差異の原因について適切に分析することができたか。(技)(思) パーシャルプランによる記帳ができたか。(技) 利益計画について関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢が見られたか。(関)	5	
3	第6編 直接原価計算の基礎	16 直接原価計算(その1)				○	直接原価計算の意義と特色、手続きについて理解できたか。(知) 直接原価計算による損益計算書の形式を理解し、作成ができたか。(技) CVP分析や損益分岐図表により、売上高・原価・利益の関係が理解できたか。(知)	3	
		17 直接原価計算(その2)				○	○	損益分岐点を求めることができたか。(技) 高低点法による原価予測ができたか。(技) 損益分岐点比率と安全余裕率の意味を理解し、求めることができたか。(知)(技) 原価計算の種類に応じて正しく、丁寧に記帳ができたか。(技)	1 8
		発展学習 (記帳練習例題 第2・3例題)				○			
合 計								70	